

市民に寄り添い暮らしを守る 津市の獣害対策

市内では、シカやイノシシ、サルなどの野生鳥獣による農作物などへの被害が発生しており、最近では市街地でもサルやシカなどによる被害が報告されています。また、アライグマなどの小動物による農作物の食害も発生していることから、津市では被害防止や有害鳥獣の捕獲などの取り組みを進めています。



地域に寄り添った「津市獣害対策相談チーム」が活動しています

津市では「個体数の調整」「防護柵設置の推進」「地域ぐるみでの取り組み」を獣害対策の三本柱として進めてきましたが、地域の皆さんからは、被害状況の確認と被害防止のさらなる対策を求める声が上がることになりました。

そこで「地域に寄り添った獣害対策」として、平成28年4月に新たに「津市獣害対策相談チーム」を設置し、獣害対策の活動を強化しました。

平成28年3月以前

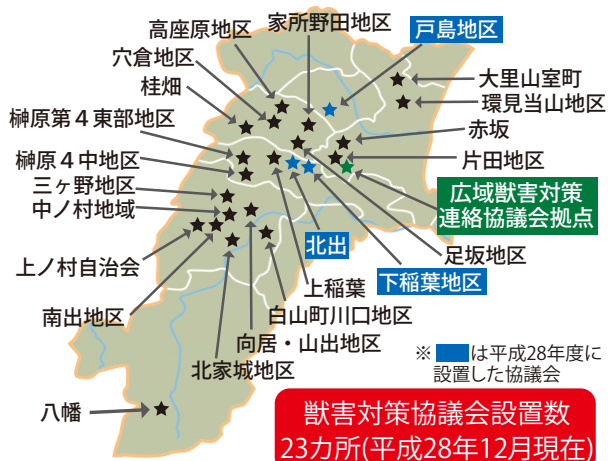
「津市鳥獣被害対策実施隊」に農林水産政策課担当者全員を指名

平成28年4月以降

25人体制による津市獣害対策相談チームを設置
農林水産政策課担当者11人、各総合支所獣害担当者1人(計9人)、美里総合支所・白山総合支所に再任用職員各2人(計4人)、狩猟免許を有する臨時職員1人

津市獣害対策相談チームの活動内容

- 防護柵の見回り、脆弱箇所（びいじやく）の指導と新たな設置に関する提案
- 地域の皆さんが参加する地域獣害対策協議会座談会の計画・開催と新たな獣害対策協議会の立ち上げ支援
- 被害内容の聞き取りとその対策の提案、捕獲実績の少ない檻への捕獲指導
- 市街地に出没するサルなどの追い払い、アライグマなどの小動物被害対策の提案や助言



津市獣害対策相談チームによる現地確認や追い払い

設置された防護柵

データで見る津市の獣害被害・対策の状況

